

## あかしジェンダー平等推進計画の策定について

令和5年6月の生活文化常任委員会で報告しました「あかしジェンダー平等推進計画(素案)」について、パブリックコメントによる意見公募等を踏まえ、別添のとおり取りまとめましたので、報告いたします。

### 1 あかしジェンダー平等推進計画の概要

(1) 計画期間：2023年(令和5年)10月～2030年(令和12年)度

(2) 基本理念

性別等による不平等がなく、一人ひとりが自分の意思で生き方を選ぶことができ、もってすべての人がその個性と能力を十分に発揮することができるジェンダー平等社会の実現をめざす

(3) 基本目標

- ① 人権尊重とジェンダー平等の実現に向けた取組推進
- ② 性別等に起因するあらゆる暴力や権利侵害の根絶
- ③ 家庭生活、社会生活におけるジェンダー平等の推進
- ④ 意思決定過程におけるジェンダー平等の推進
- ⑤ 施策の推進体制の充実

### 2 パブリックコメントの実施

(1) 実施期間：2023年(令和5年)7月11日(火)～8月10日(木)

(2) 提出件数：60件(17人)

(3) 主な意見

- ・「男女共同参画」という曖昧な表現から、ジェンダー格差があることを前提とした「ジェンダー平等」という表現に変わったことの意義は大きい。
- ・「誰ひとり、取り残さない社会」について、配慮された内容である。
- ・子どもにもわかりやすく、各年代にあわせたジェンダー教育をしてほしい。
- ・ジェンダーの問題は「女性の問題」と捉えられがちだが、男性に対する意識改革や啓発、教育につながる施策を進めてほしい。
- ・DVにより自己肯定感や自尊感情が低下したり依存傾向が高まると、パートナー同士での解決は難しい。周囲の知り合い、友人の呼びかけが大切になってくる。
- ・男性に対しても相談しやすい体制づくりが、女性にとっても大事である。
- ・SOGIEは、全ての人に通じる概念と言われがちだが、抜け落ちる人たちがいること、また、その人たちの視点を忘れないでほしい。 など

### 3 計画の主な修正点(6月委員会提出の計画素案以降)

パブリックコメントや関係団体からの意見聴取等により、以下のとおり修正を行いました。

- ・ジェンダーギャップ指数や女性版骨太の方針を2023年版に更新。
- ・「社会生活におけるジェンダー平等の推進」に、育児短時間勤務制度の導入や、ICTの活用などについて追記。
- ・資料編の用語解説について、新たな解説内容を追加、文言の修正。 など

### 4 計画の周知

策定後に、市ホームページへの掲載等により周知を行います。